

生徒・保護者の皆様

新型コロナウイルス感染症に関する本学院の対応について

平素より、本学院の教育活動に対する御理解と御協力に深く感謝申し上げます。

このたびの本学院における新型コロナウイルス感染症の拡大により、皆様方には御心配と御迷惑をおかけしておりますことを、心からお詫び申し上げます。

7月11日から30日までの間に、本学院の高校生34名が陽性判定を受けました。日頃から感染防止には様々な声掛けや注意喚起を行ってきたところですが、結果としてこれだけの陽性者が出てしまったことを重く受け止め、指導や管理監督の更なる徹底を図らなければならないと考えております。新型コロナとの共存生活が長引く中でも生徒一人ひとりが感染防止対策を励行し続けられるような取り組みに、全教職員一同が最大限の努力を傾注してまいります。

これまで関係機関により適切な措置を行っていただき、またその指導助言に従い取り組んでまいりました結果、お蔭様をもちまして、新規陽性者や濃厚接触者の発生状況の推移などから現在は終息にかなり近づいておりますことをお知らせ申し上げます。

これまで、本学院の保護者の方をはじめといたしまして、地域の皆様、本学院を応援していただいております方々から、厳しいお叱りや早期終息に向けた励ましのお言葉を頂戴いたしてまいりました。衷心より御礼申し上げます。とりわけ陽性者が確認されつつある中で、一部の教育活動を並行して行ってきましたことに、ご不安ご懸念を示されるお声を複数いただきました。この件につきましては、関係機関の指導に基づき、陽性者の発生状況（とくに一人ひとりの行動履歴）を詳細に調査し、感染拡大の心配がない範囲での教育活動を実施したものです。また、生徒にとって極めて重要なこの時期に必要な活動を行うために、当該生徒全員のPCR検査を実施し、全員の陰性を確認した上で実施するなどの措置を行ってきました。結果、これらの教育活動に伴う感染拡大はございません。しかしながら、そうした説明が大変遅くなってしまいましたことは事実であり、それにより、ご不安が増幅されてきたとも拝察いたしております。重ねてお詫び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による人権侵害や誹謗中傷などが社会的に問題視されております。本学院においても感染防止対策をより一層徹底するとともに、り患された御家庭のプライバシー保護や差別等の根絶を目指して、生徒一人ひとりの心に訴えかける取り組みに全力を尽くしてまいりますので、何卒御理解いただきまして、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年7月30日

聖ウルスラ学院英智高等学校  
校長 伊藤 宣子